

日本介護福祉士会 ニュース

Rashiku

VOL.179

2024 OCTOBER

仕事も、人生も、自分らしく、あなたらしく

30周年特別記念感謝集号

公式ロゴマーク・キャラクター決定

たくさんのご応募
ありがとうございました

30
Anniversary



表紙の写真
募集中!

詳しくは14ページへ

教えて!

及川会長!

介護福祉にまつわる用語や素朴な疑問に及川会長がお答えします

【KEYWORD】

第8回

「新ロゴマーク」って何ですか?

お答え
します

これからの日本介護福祉士会の理想が込められたシンボル

及川会長 吉岡広報委員長



日本介護福祉士会のロゴマークが新しくなりましたね。会の創立30周年の節目に合わせて、ロゴマークの改定と公式キャラクターを制定しました。30年間続いたロゴマークが新しくなるというニュースは、結構なサプライズでした。旧ロゴマークは、日本介護福祉士の創立に合わせ作られたものです。その昔、介護スタッフは寮母さんなどと呼ばれていました。介護現場にはほとんど女性しかいなかったからです。それが、介護福祉士という国家資格ができたことで、性別に関係なく、多くの方が介護の世界に参入してくるようになりました。旧ロゴは「男性も女性も協力し合って介護をする時代」の象徴として制定されました。確か、男性と女性が手を取り合っている姿がモチーフになっていると聞いたことがあります。

当時は、それだけ画期的な変化だったということですね。旧ロゴの制定から30年が経過する中で、日本の社会も大きく変化してきました。介護のニーズも複雑化・多様化するとともに、専門職としての介護福祉士の役割も変化してきま

した。こうした変化が背景にあり、これからの新しい30年を新しいロゴと共に歩んでいこうという方針が決まりました。ロゴマークはどのようなようにして決まったのでしょうか。ロゴマーク、公式キャラクターとも、公募により700通近い応募作品の中から、会員投票を経て、ブラッシュアップをおこないました。桜は日本を象徴する花ですね。5枚の花びらはそれぞれ色が異なりますが、意味があるのでしょうか。ピンクは優しさ(Kind)、グリーンは進歩・成長(Advance)、イエローは知性(Intelligence)、ブルーは誠実さ(Genuine)、オレンジは親しみやすさ(Open)を表しています。それぞれの頭文字をつなげるとKAIRO(介護)になりますね。介護福祉士は「他者への優しさを基調とし、目標の達成に向け常に進歩を続け、知性を育みイノベーションを生み出すとともに、誠実さと信頼性をもって、介護を必要とする全ての方に手を差し伸べる」存在でありたい、その理想がこもった素敵なデザインができました。皆さんに親しんでいただける、会のシンボルとなる良いですね。



皆さんに親しんでいただける、会のシンボルとなる良いですね。

このシンボルは、桜の花びらをモチーフに、5枚の花びらはそれぞれ色が異なりますが、意味があるのでしょうか。ピンクは優しさ(Kind)、グリーンは進歩・成長(Advance)、イエローは知性(Intelligence)、ブルーは誠実さ(Genuine)、オレンジは親しみやすさ(Open)を表しています。それぞれの頭文字をつなげるとKAIRO(介護)になりますね。介護福祉士は「他者への優しさを基調とし、目標の達成に向け常に進歩を続け、知性を育みイノベーションを生み出すとともに、誠実さと信頼性をもって、介護を必要とする全ての方に手を差し伸べる」存在でありたい、その理想がこもった素敵なデザインができました。皆さんに親しんでいただける、会のシンボルとなる良いですね。

このシンボルは、桜の花びらをモチーフに、5枚の花びらはそれぞれ色が異なりますが、意味があるのでしょうか。ピンクは優しさ(Kind)、グリーンは進歩・成長(Advance)、イエローは知性(Intelligence)、ブルーは誠実さ(Genuine)、オレンジは親しみやすさ(Open)を表しています。それぞれの頭文字をつなげるとKAIRO(介護)になりますね。介護福祉士は「他者への優しさを基調とし、目標の達成に向け常に進歩を続け、知性を育みイノベーションを生み出すとともに、誠実さと信頼性をもって、介護を必要とする全ての方に手を差し伸べる」存在でありたい、その理想がこもった素敵なデザインができました。皆さんに親しんでいただける、会のシンボルとなる良いですね。

第31回日本介護福祉士会全国大会 第22回日本介護学会

令和6年11/15(金)、16(土) in 島根くにびきメッセ

11月15.16日「つながる歴史で介護の価値を高める」と題して、全国大会を島根県松江市でおこないます。ここ神話の国から、先輩方から受け継がれてきた“介護”を、“未来に向けて語り合う”機会が設けられたことは、非常に感慨深く、また介護福祉士が誕生してから37年、「介護の価値」を追い求め、日本介護福祉士会創立30周年の機会に「何を」繋げていくのか。皆さんで考え行動するきっかけにしたいと思います。

今回は、認知症の権威でありエスポール出雲クリニックの理事長・院長の高橋幸男先生から基調講演をいただき、その後に開催されるシンポジウムでは、東京大学大学院特任研究員の本田先生に学術的な観点から話をいただきます。つづけて離島での現場の工夫点を隠岐広域連合副広域連合長の川崎氏からお話いただき、さらに当事者の視点で介護福祉士に何を求めるのか、を車いすインフルエンサーの中嶋氏から語っていただきます。

“介護を未来”にどのように繋げていくか、楽しく意義深い大会になるよう皆で取り組みます。

しまね vol.4 から



「大イチョウ」
金言寺(奥出雲町)にあり、
樹齢は約800年



「日御碕灯台」
石造灯台としては日本一の高さ。
(高さ:43m 海拔:63m)